

げんだい きよざわまんし きょうがく 現代における清沢満之とその教学

清沢満之(1863～1903)とは、明治という時代に生まれ、母からの影響を受け親鸞聖人(1173～1262)の教えにであい、縁あって真宗大谷派に身を置き、大谷大学初代学長(当時は真宗大学)などを歴任し、名古屋の地で39年の生涯を終えた一人の仏教者です。彼によって親鸞聖人の教えにであった人も生まれましたが、その一方で、戦争に向かっていく当時の国家や教団という社会に対する彼の姿勢が批判されてもきました。



亡くなってから100年余り経つ今、さまざまな資料やその見直しによって、改めて「清沢満之」とは何者であったのかが研究されています。

この学習会では、清沢個人というよりは、「親鸞聖人の教えに学ぶ」という一点を大切にしながら、「清沢満之」に迫っていきたいと考えています。

生きた時代や環境が違えども、苦悩する者であることに違いはありません。どなたさまもお待ちしています、共に学びましょう。

【期 日】 2017年4月20日(木)

【講 師】 なわ たつのり
名和 達宣 さん
(教学研究所研究員)

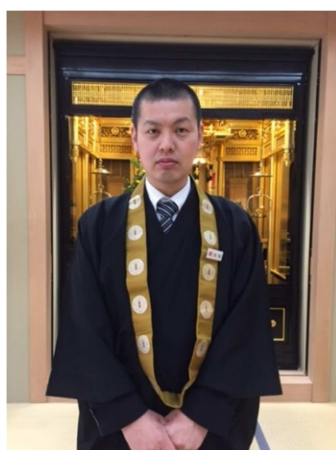
【場 所】 富山東別院会館
1F 研修ホール

【参加費】 500円

【持参品】 筆記用具・念珠

※なお、日程終了後に懇親会を開きます。

ご参加の方は別途お願いします。



～講師のご紹介～

なわ たつのり
名和 達宣

大阪大学文学部(倫理学専修)卒業。大谷大学大学院文学研究科(真宗学専攻)修士課程修了。真宗大谷派宗務所教育部学校教育幹事、親鸞仏教センター研究員を経て、現在、教学研究所研究員。親鸞教学の視座より日本近代思想史を研究。

主な論文に「『臘扇記』を読む——清沢満之における転換期」(『現代と親鸞』第33号、2016年)、「西田哲学と親鸞教学——「逆対応」の可能性」(『西田哲学学会年報』第12号、2015年)など。

日 程	
受 付	13:30
開 式	14:00
講 義	14:10～休憩 ～16:30
質疑応答	16:40
閉 式	17:00

主催：富山教区仏教青年会

連絡先：代表 淵上知明(第12組本伝寺) (090-2129-1759)